

事業所名

モンキー' Sスクール・モンキー' スクールII

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

14日

法人（事業所）理念	「共に生きる」個性を尊重し助け合って生きていく、そんな姿が当たり前であり、関わる人が「目標」「したいこと」を見つけ「努力」「挑戦」でき「達成」「成功」の素晴らしさを感じ、その人らしい人生を笑顔で送ることを目指します。		
支援方針	1、関係性作り「何よりも子どもの心を捕まえよ」 2、形にはめない支援「個性を大切に」 3、一緒に楽しみ笑う「楽しさは教えるものではなく感じあうもの」「笑顔は何よりの薬である」 4、諦めない「可能性に0はない」 5、共に学び合い成長する「子ども達から学び考え成長する」		
営業時間	平日 11:30~17:30 土曜・祝日・長期休暇中 9:30~15:30	送迎実施の有無	あり なし
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握（体温調整や検温・てんかん発作やアレルギーへの対応等）を行い、異常の早期発見・対応を行います。 ・身辺自立、身体図形の理解から成長段階の自身に起こる変化や対応等、適応能力に応じた支援グループを分け、利用児様に対して個々の能力に合わせて生活力の基盤を作っていくように支援する。また、おやつ作りや料理を通して生活スキルの向上を図る事ができる様に支援する。	
	運動・感覚	運動することで脳を活性化させ生活を送る上で生きる力を育む事ができる様に、独自の運動プログラムを活用し、体力・筋力・バランス能力・運動や可塑性といった様々なカテゴリーに分け、約800個のメニューを通して専門知識を持った職員が利用児様の運動能力に合わせ運動指導を支援する。	
	認知・行動	・ペン習字では、単語や物の一致から、ひらがな、カタカナ、漢字の理解、絵本の読み聞かせから、本読み、文節や助詞の理解、文章づくり、シール貼りから、なぞり書き、手本を見て臨書へと段階を踏みながら、個々の能力に合わせて見る力や空間認知能力の基盤づくりを支援する。 ・数の概念の理解からお金の理解、物の価値の理解・時計の認識からカレンダーの見方等、スケジュールや時間の認識を深め行動の手掛かりとして活用できるように支援する。	
	言語 コミュニケーション	障害特性で「見る優位」「聞く優位」と分かれてしまうことがありますが、脳はまず右脳が発達しイメージを担当、成長とともに左脳が次第に強くなっていき言葉を担当するといわれています。それぞれの脳の領域を段階に応じて右脳から左脳へと意識して使用することによって、コミュニケーションに必要な見る力と聞く力の向上を支援する。	
	人間関係 社会性	心地よい触れ合いから力の強弱・人との距離感やパーソナルスペースの理解へと繋げ他者との距離感を身につける事ができる様に支援する。 「性教育」を通して命の大切さや異性との関わり方、利用児様に対して個々の支援に沿って成長段階に応じた他者との関わり方を支援する。	
家族支援	利用児様の発達状況や特性の理解に向けた相談援助・講座やペアレントトレーニングの実施を行い、ご家等への支援を行う。	移行支援	進路や移行先の選択について、学校での取り組みや事業所での様子を共有しながら、本人の意向を踏まえた上で選択肢の幅を広げる事ができる様に支援を行う。
地域支援・地域連携	関係機関での役割分担を行うとともに、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常生活や支援に活用するための具体策を提案する。	職員の質の向上	・外部研修への参加 ・社内研修（月1回） ・資格取得
主な行事等	・外出や余暇活動（キャンプ・宿泊イベント・余暇活動の提供・様々なレクリエーション施設への外出 等） ・運動療育、性教育、ペン習字、SST、音楽療法、プール指導、クリスマスお楽しみ会、日常生活における生活スキルトレーニング、昼食作り、おやつ作り、工作 等		